

研究課題番号	5-1901
研究課題名	蛍光顕微鏡法による大気アスベスト連続自動計測装置の開発と解体現場におけるアスベスト飛散状況の解明
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	広島大学
研究代表者名	黒田 章夫

1. 委員の指摘及び提言概要

研究目標の設定、方法、結果の解釈と今後の対応について、明快な説明がなされたと判断される。測定に高度なスキルが求められるアスベスト測定について、現場で迅速に測定できる手段が得られることは非常に有益であり、自動計測装置の開発に取り組んだことは評価できる。試作装置の仕様から判断して、敷地環境の基準を満たすための検査用など、解体現場で利用可能なレベルに近づいたと思われる。アモサイトなど対象によって検出率がまだ低いことなど改良すべき点もあるが、自治体の環境部局などでの活用も期待できることから、早い商品化と低価格化が達成できればなお望ましい。

2. 採点結果

評価ランク：S